

熊本市防災基本条例（仮称）の制定に向けた市民アンケートについて

【目的】 熊本市防災基本条例（仮称）の制定に向けた検討を進めるにあたり、市民等の意見を広く聴取し、基礎資料として活用することを目的とする

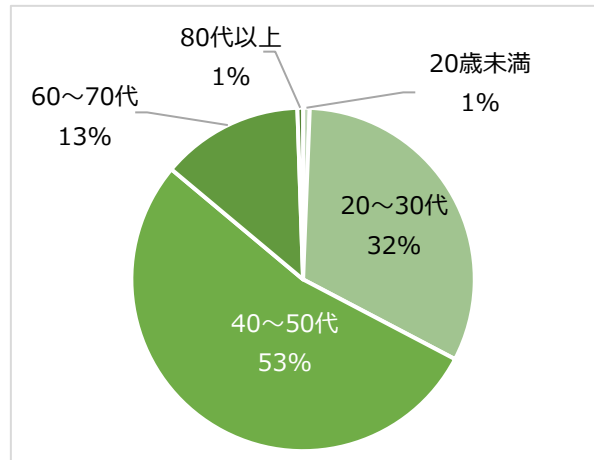
【期間】 2021年11月22日～2022年2月4日まで

【方法】 熊本市ホームページのアンケートシステムを活用

【回答数】 2,077件（対象者：市内在住または市内に通勤・通学する者）

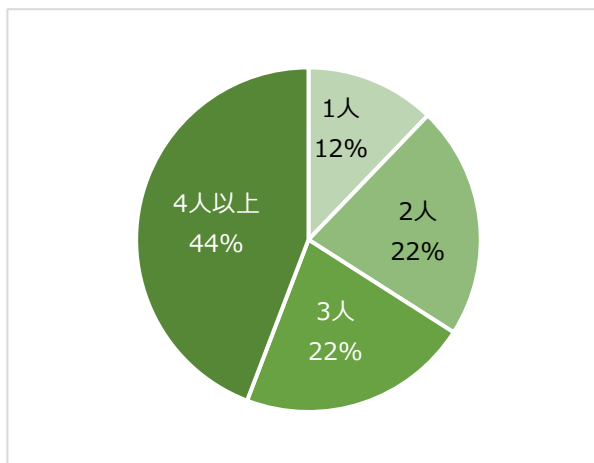
1 あなたの年代を教えてください

20歳未満	13	1%
20～30代	666	32%
40～50代	1,109	53%
60～70代	278	13%
80代以上	11	1%
計	2,077	



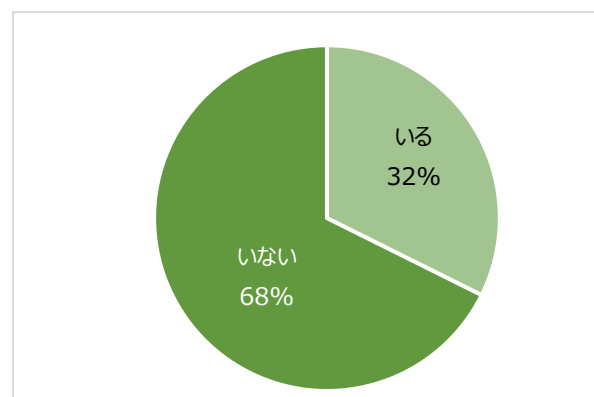
2 あなたの家族構成について、教えてください

1人	253	12%
2人	454	22%
3人	452	22%
4人以上	918	44%
計	2,077	



3 乳幼児や高齢者、障がい者など災害時に支援を必要とする方がご家族にいますか？

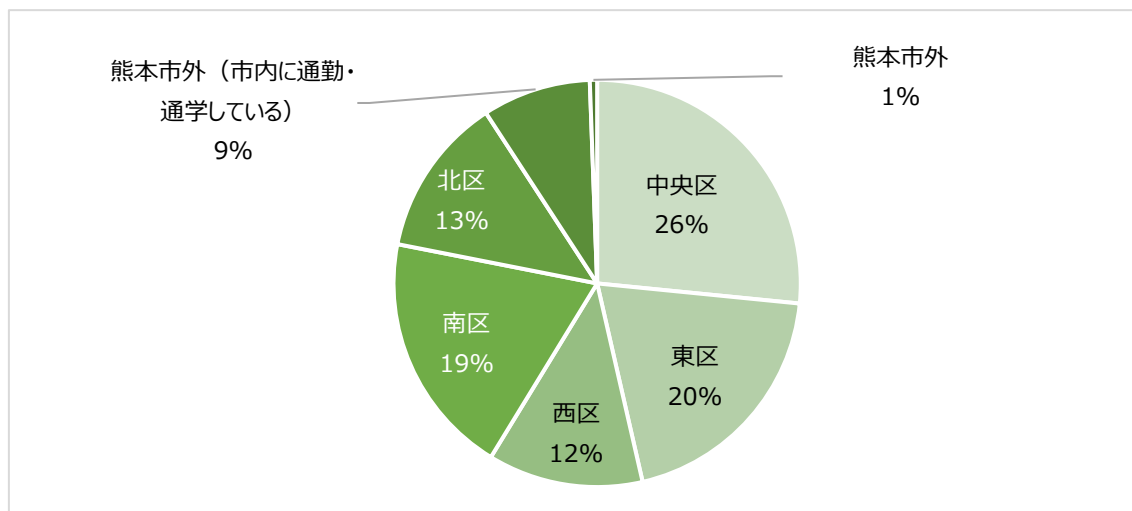
いる	672	32%
いない	1,405	68%
計	2,077	



4 あなたのお住まいを教えてください

中央区	552	26%
東区	412	20%
西区	256	12%
南区	402	19%
北区	264	13%
熊本市外（市内に通勤・通学している）	179	9%
熊本市外	12	1%

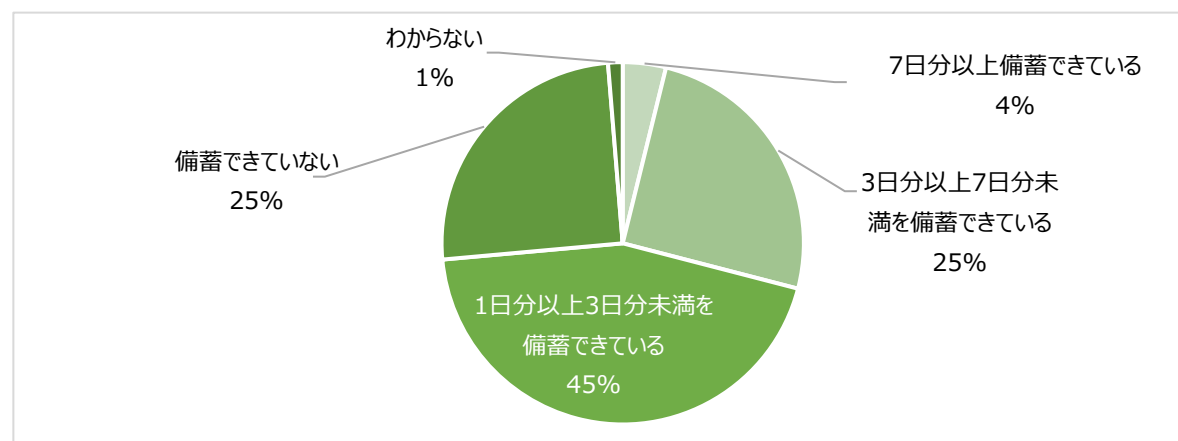
計 2,077



5 災害に備えて、水・食料品等の備蓄ができていますか？

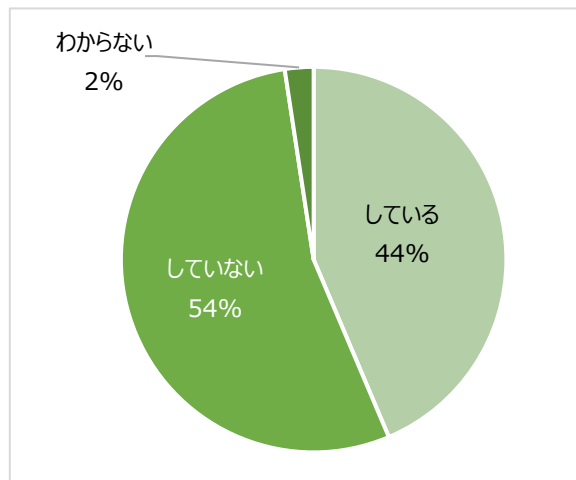
7日分以上備蓄できている	80	4%
3日分以上7日分未満を備蓄できている	523	25%
1日分以上3日分未満を備蓄できている	925	45%
備蓄できていない	522	25%
わからない	27	1%

計 2,077



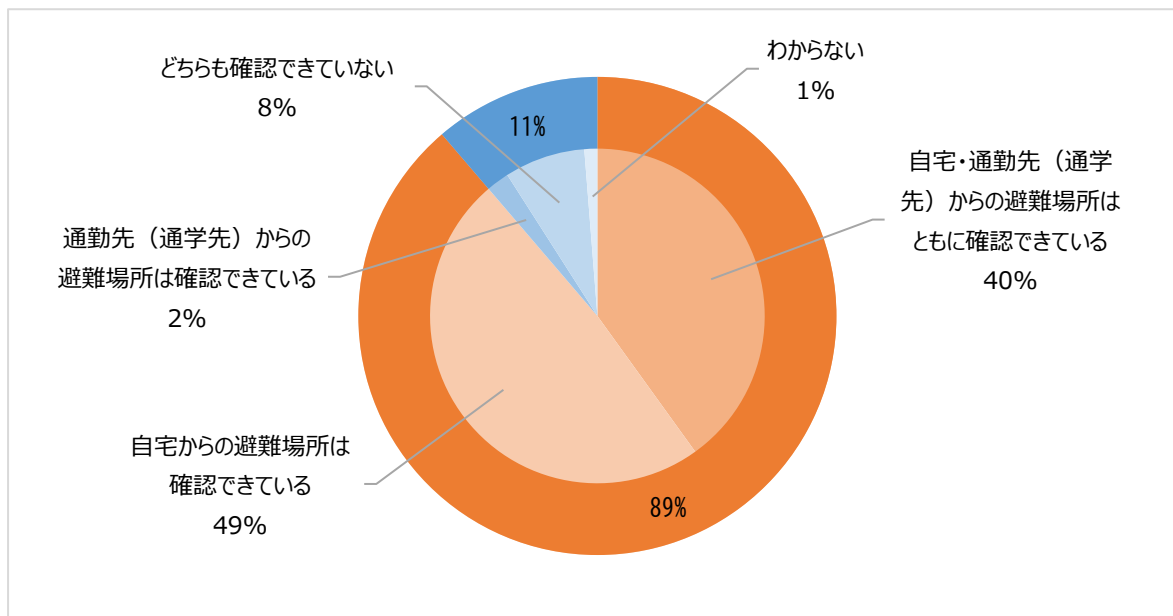
6 災害時にすぐに持ち出しができるよう非常用品（懐中電灯や救急医薬品など）を準備していますか？

している	906	44%
していない	1121	54%
わからない	50	2%
計	2,077	



7 災害に備えて、避難所等の場所を把握していますか？

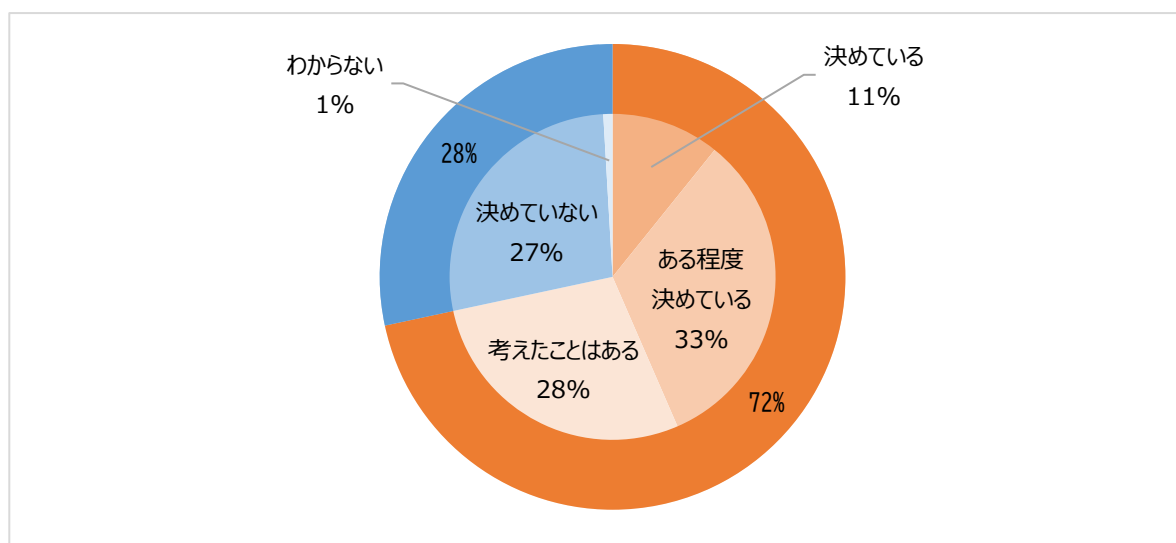
自宅・通勤先（通学先）からの避難場所はともに確認できている	832	40%
自宅からの避難場所は確認できている	1,011	49%
通勤先（通学先）からの避難場所は確認できている	46	2%
どちらも確認できていない	162	8%
わからない	26	1%
計	2,077	



8 風水害（梅雨末期の大雨や台風）など予測できる災害では、どのようなタイミングで避難するか決めていますか？

決めている	224	11%
ある程度決めている	679	33%
考えたことはある	585	28%
決めていない	570	27%
わからない	19	1%

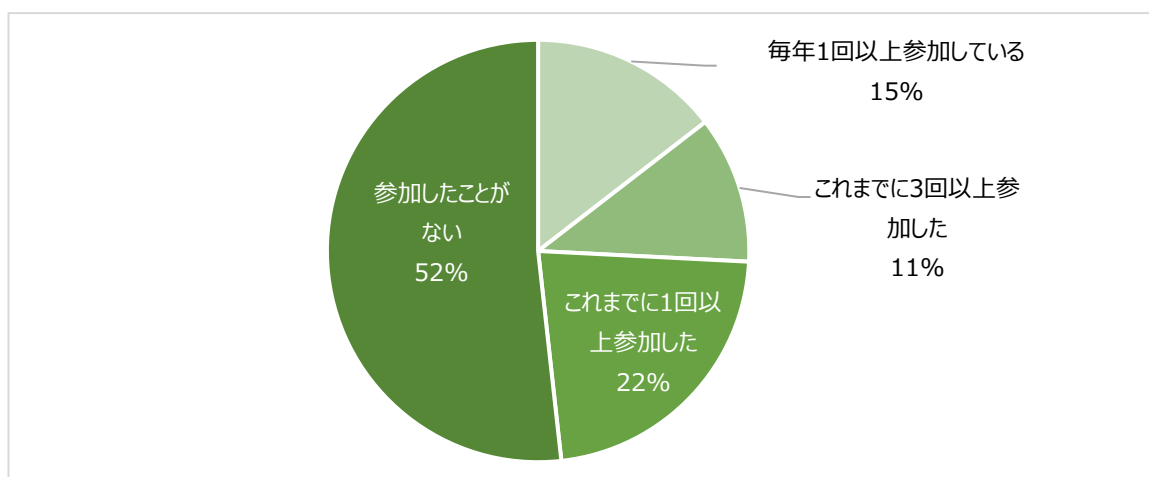
2,077



9 熊本地震以降、地域の防災訓練や防災イベントに参加しましたか？

毎年1回以上参加している	302	15%
これまでに3回以上参加した	234	11%
これまでに1回以上参加した	466	22%
参加したことがない	1,075	52%

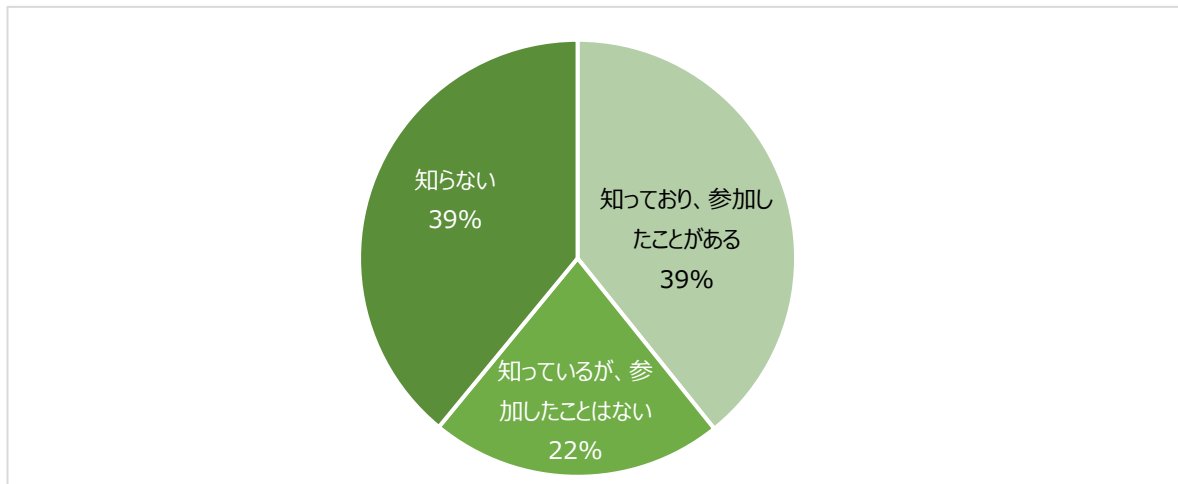
計 2,077



10 毎年4月第3土曜日に実施することとしている震災対処実動訓練を知っていますか？

知っており、参加したことがある	815	39%
知っているが、参加したことはない	451	22%
知らない	811	39%

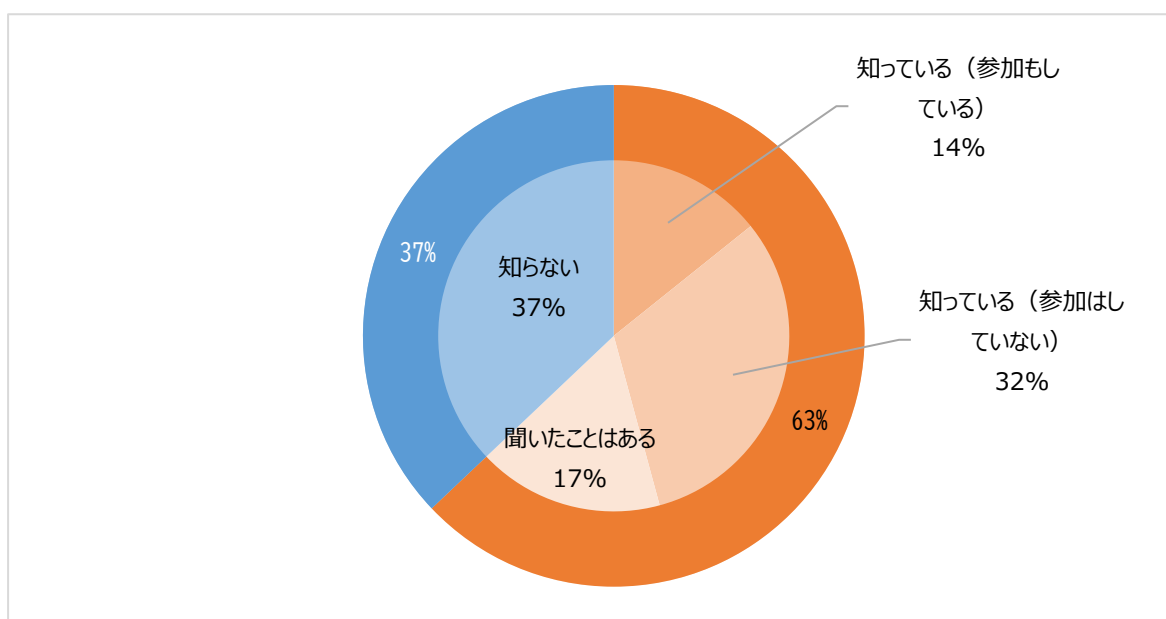
計 2,077



11 熊本地震後、校区ごとに設置している校区防災連絡会を知っていますか？

知っている（参加もしている）	296	14%
知っている（参加はしていない）	655	32%
聞いたことはある	356	17%
知らない	770	37%

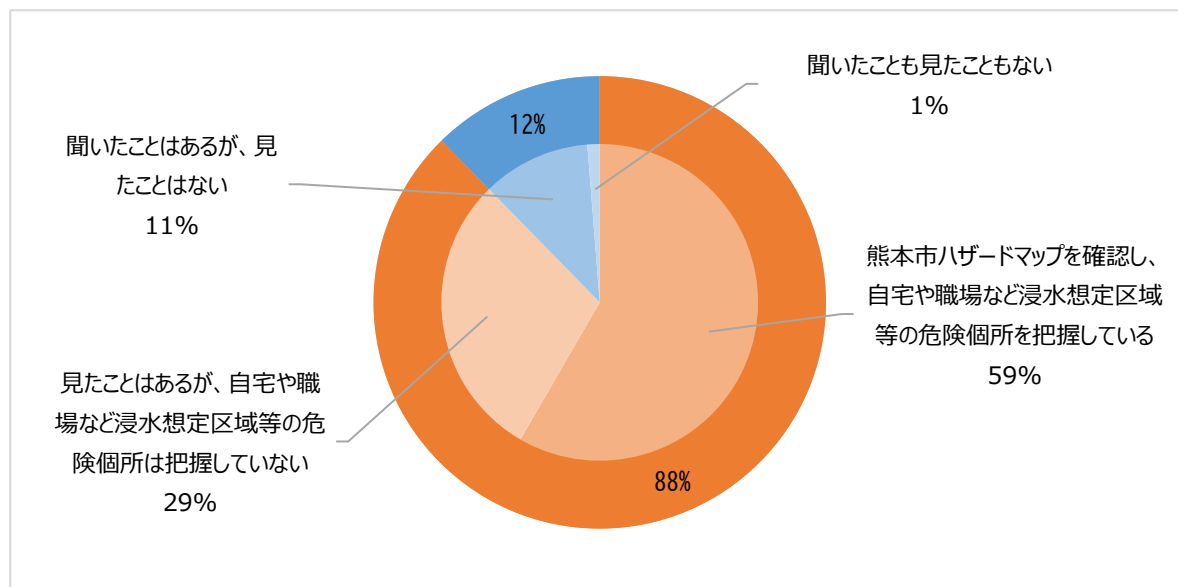
計 2,077



12 令和2年4月から熊本市ハザードマップを市のホームページで公開していますが、熊本市ハザードマップを確認したことがありますか？

熊本市ハザードマップを確認し、自宅や職場など浸水想定区域等の危険個所を把握している	1,212	59%
見たことはあるが、自宅や職場など浸水想定区域等の危険個所は把握していない	609	29%
聞いたことはあるが、見たことはない	230	11%
聞いたことも見たこともない	26	1%

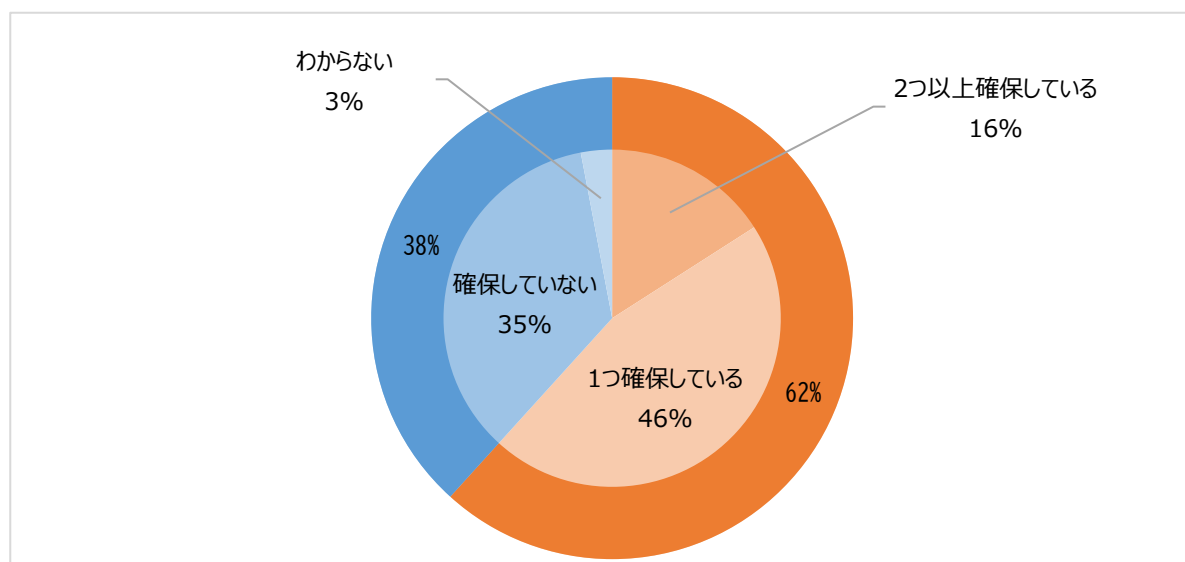
計 2,077



13 防災ラジオ（緊急告知ラジオ）、防災アプリなど災害情報収集の手段を確保していますか？

2つ以上確保している	331	16%
1つ確保している	951	46%
確保していない	733	35%
わからない	62	3%

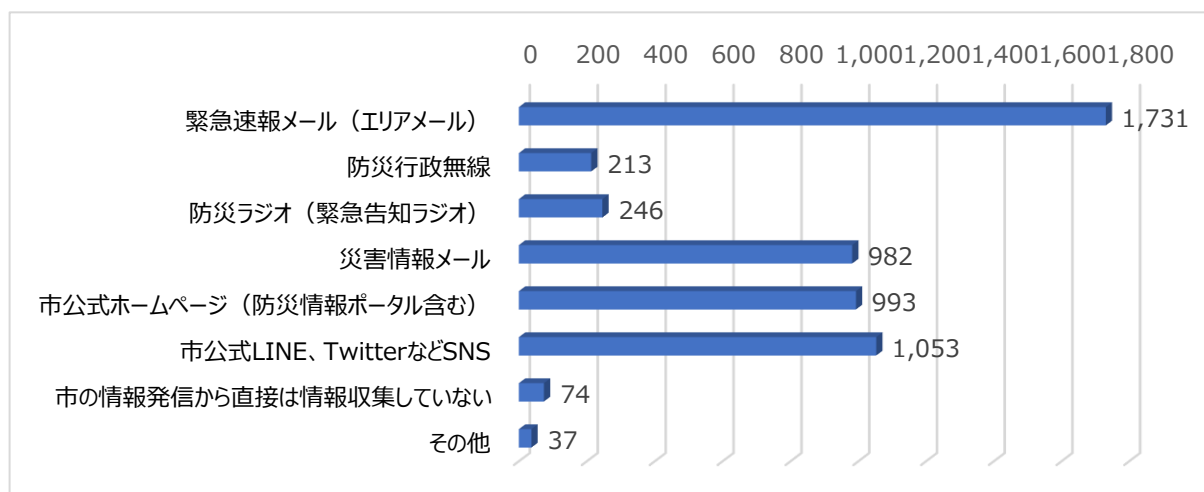
計 2,077



14 豪雨時などに熊本市が発信する災害情報について、あなたが確認している手段をすべて教えてください
(あてはまるものを全て選んでください)

緊急速報メール（エリアメール）	1,731
防災行政無線	213
防災ラジオ（緊急告知ラジオ）	246
災害情報メール	982
市公式ホームページ（防災情報ポータル含む）	993
市公式LINE、TwitterなどSNS	1,053
市の情報発信から直接は情報収集していない	74
その他	37

計 5,329



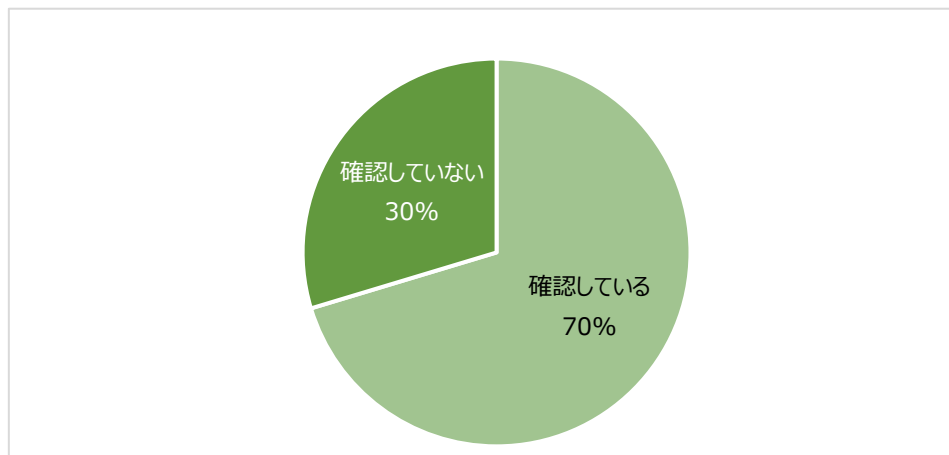
15 上記でその他と答えた方について、手段を回答してください

スマートフォンアプリ
市長のツイッター

16 NHKのデータ放送など、放送事業者等が発信する災害情報を確認していますか？

確認している	1,461	70%
確認していない	616	30%

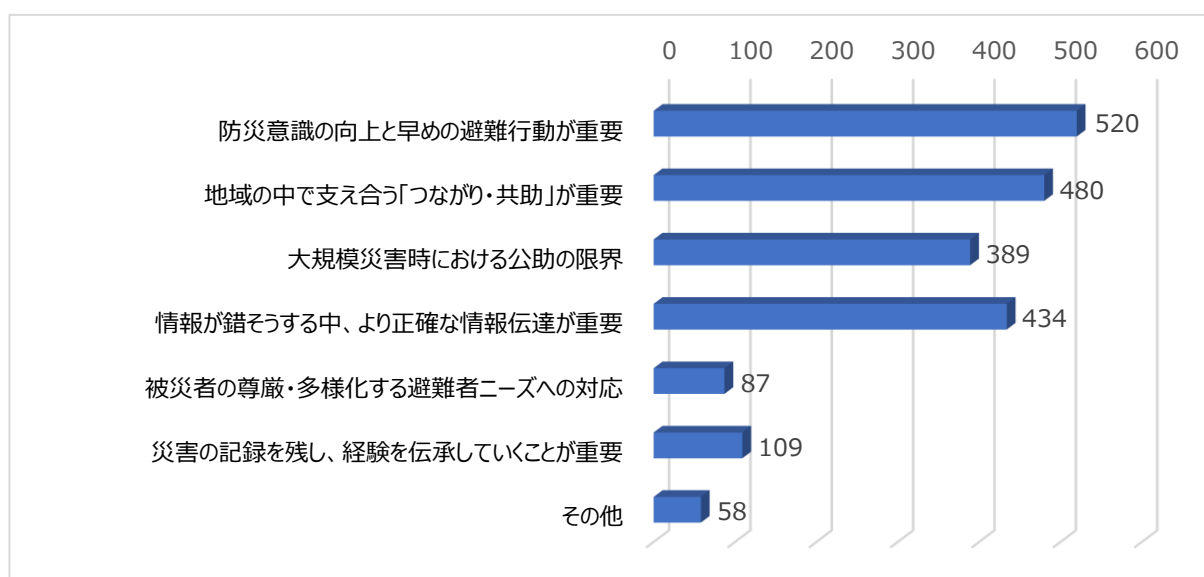
計 2,077



17 あなたが考える、熊本地震の教訓はどのようなことですか？

防災意識の向上と早めの避難行動が重要	520
地域の中で支え合う「つながり・共助」が重要	480
大規模災害時における公助の限界	389
情報が錯そうする中、より正確な情報伝達が重要	434
被災者の尊厳・多様化する避難者ニーズへの対応	87
災害の記録を残し、経験を伝承していくことが重要	109
その他	58

計 2,077



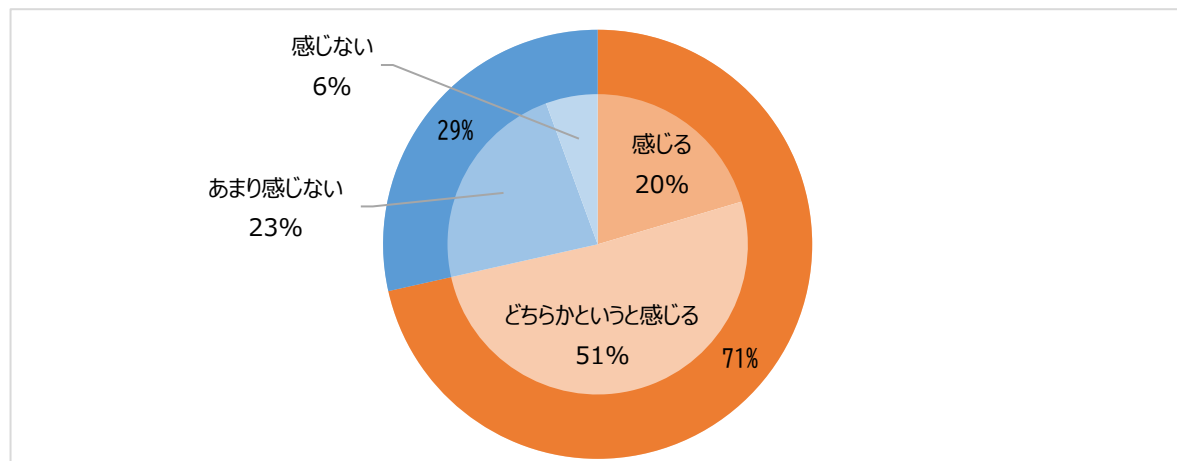
18 上記でその他と答えた方について、あなたが考える、熊本地震の教訓を回答してください

熊本地震を体験していない
教訓は1つではない
災害に強いまちづくりを平時に整備すること

19 熊本地震の記憶や教訓を忘れがちになっていると感じますか？

感じる	424	20%
どちらかというを感じる	1,061	51%
あまり感じない	476	23%
感じない	116	6%

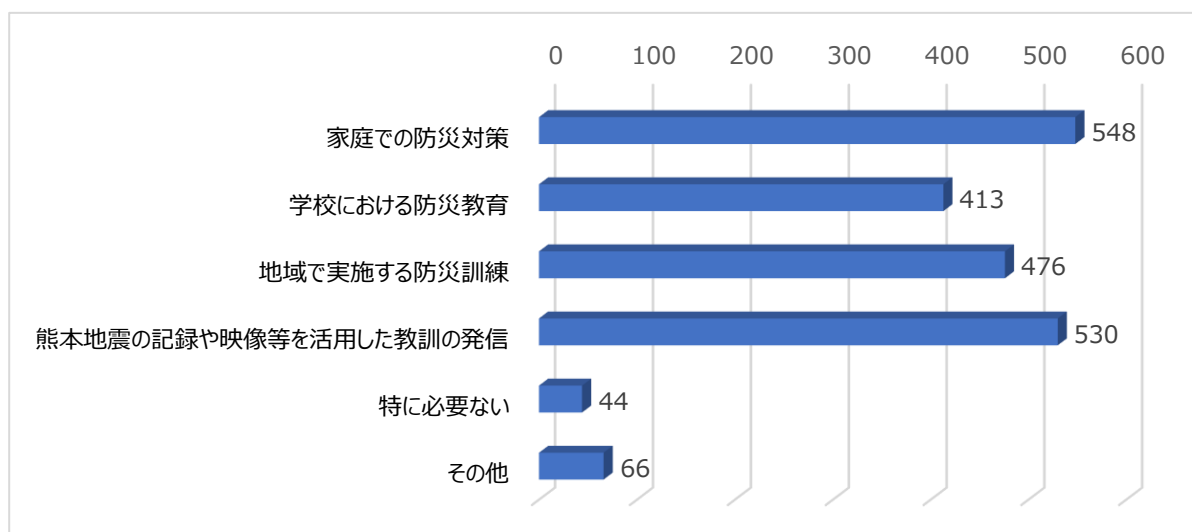
計 2,077



20 熊本地震の記憶や教訓等を伝えていくためにはどのような取組が必要だと思いますか？

家庭での防災対策	548
学校における防災教育	413
地域で実施する防災訓練	476
熊本地震の記録や映像等を活用した教訓の発信	530
特に必要ない	44
その他	66

計 2,077



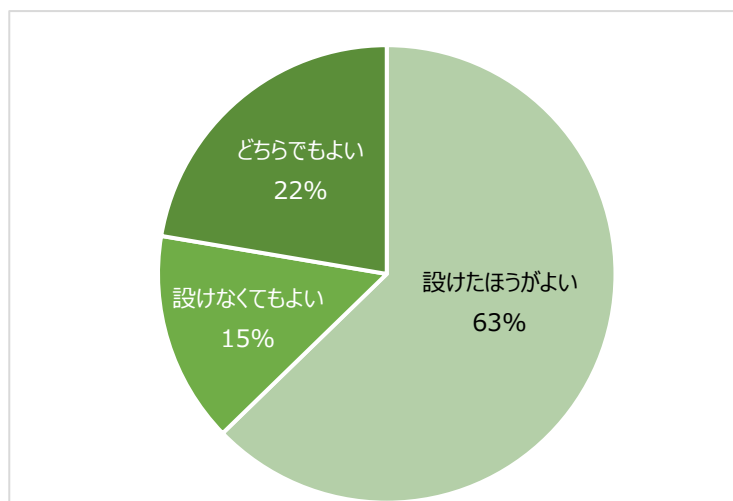
21 上記でその他と答えた方について、必要だと思う取組を回答してください

受援体制への取組み
民間企業、NPOなどが実施する受講し取り組みたくなるような講習会
どうして地震だけの記憶や教訓を残していくのでしょうか？市内でも竜田の水害など色々あったと思いますし、近隣自治体でも大規模水害が頻発しています。
熊本地震だけが、大変だったのだろうか。6.26水害も、60年の藻器堀川の氾濫、平成19年の健軍川増水、その後の龍田リバーサイドの被害などすべてを把握して、すべてに対応できるように。
地域によっては、孤立する高齢者、ママたちが苦しんでいます。また、いつも心細さをどこかに抱えている。その方たちも含めて、市民のみなさまに行き渡るような優しい行政に期待しております。
行政の男女共同参画の視点の意識向上と、各地域の多様な立場の人による防災についての話し合い
コロナ禍での、防災訓練及び防災グッズの確保(ハザードマップにパンデミック禍の中での防災は、どうすべきか)など欲しい

22 過去の災害の記憶や教訓等を忘れないために本市独自の「防災の日」などを設けることについて、どのように思いますか？

設けたほうがよい	1,303	63%
設けなくてもよい	310	15%
どちらでもよい	464	22%

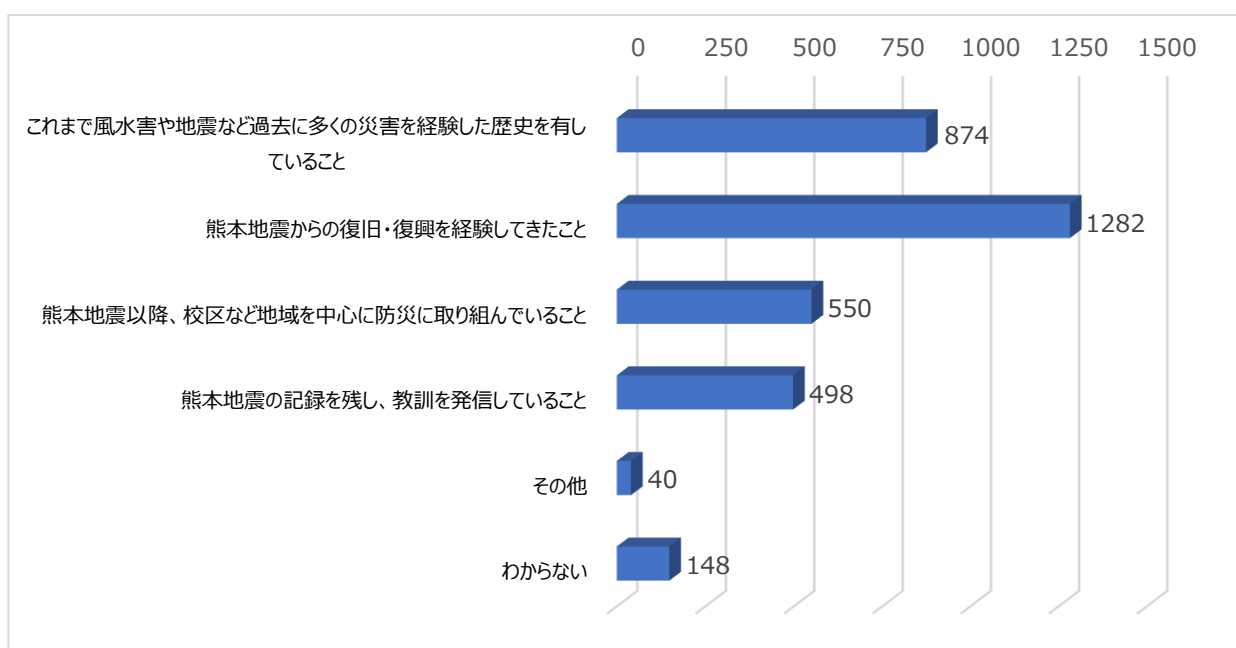
計 2,077



23 あなたが考える、本市の防災における「くまもとらしさ」とは何だと思いますか？（あてはまるものを全て選んでください）

これまで風水害や地震など過去に多くの災害を経験した歴史を有していること	874
熊本地震からの復旧・復興を経験してきたこと	1,282
熊本地震以降、校区など地域を中心に防災に取り組んでいること	550
熊本地震の記録を残し、教訓を発信していること	498
その他	40
わからない	148

計 3,392



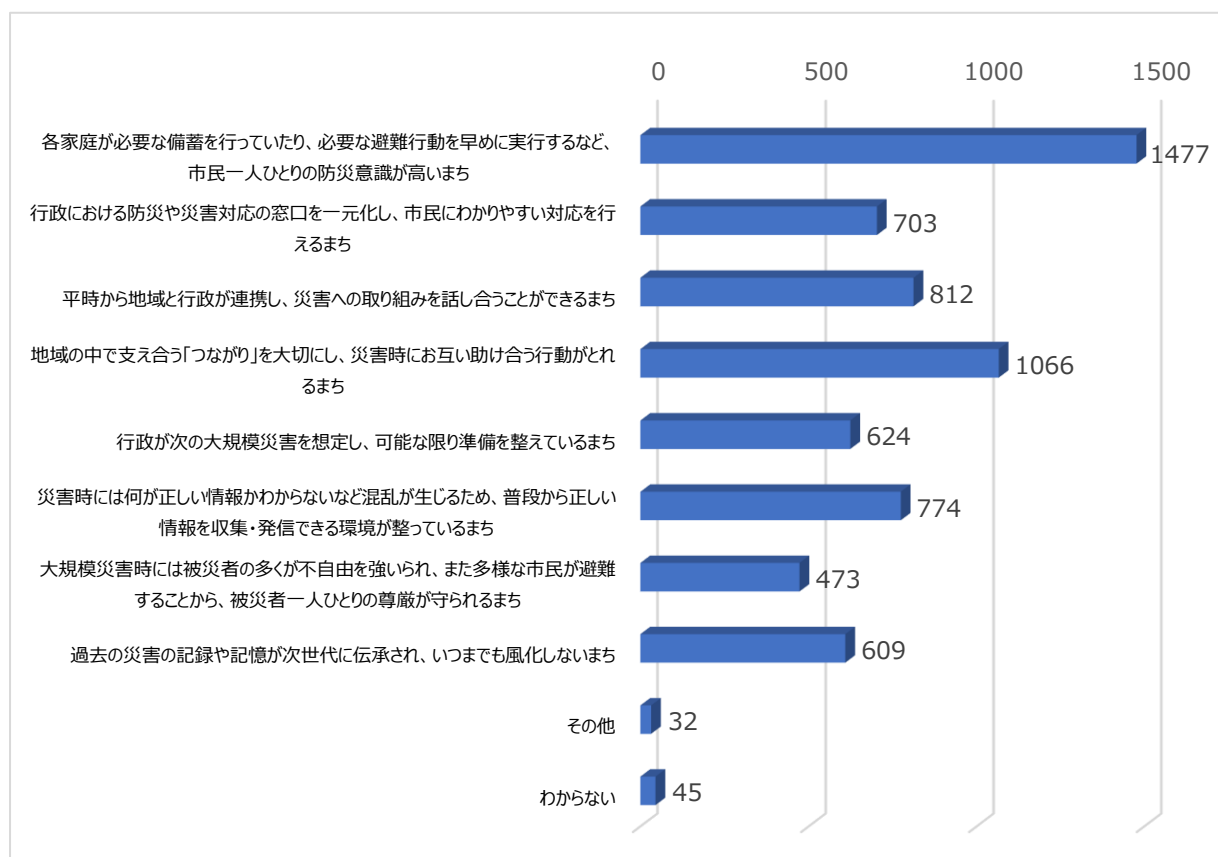
24 上記でその他と答えた方について、本市の防災における「くまもとらしさ」を回答してください

市長の発信力
各家庭で備蓄水を準備しなくても地下水で賄うなどの対策
防災にくまもとらしさはいらない。どこの地域の真似でもいいからとにかく身を守り、よりよい防災体制を構築すること。
災害を経験した他都市も同じような取り組みをしており、これと比べて「くまもとらしさ」は感じない。今回の防災基本条例策定の中で、防災面における熊本市特有の取組「くまもとらしさ」とは何かというのを真剣に考え、市民と共有すべきではないか。
くまもとらしさは、地震が少ないと国が予想した地域に2回もの巨大地震があったことと思います
大災害が起きても、大きな変革を起こせないこと。 ダムを整備、公共建築物の更新、ハザードマップの危険地域の方への対応等。
あれだけの被害を受けたのに、もう忘れてしまっていたり、防災の意識が低い。
他人まかせ
くまもとらしさなど特化せず、多様性を認め合う社会なのだから、それぞれが持つイメージでよいと思う
地域によって、網の目状の「共助」が充実している。
政令市でありながら、地域のつながりがまだまだ強く残っている熊本市。災害時にあれほど行政の動きが鈍かったにも関わらず（その反省がそもそも足りない）、なんとかやってこれたのは地域の共助が強く働いた結果だと思う。その一方で、共助がうまく働かなかった校区についての分析は全く為されていない。そこを直視し、「くまもとらしさ」を抽出していくことが大事。
おそらく、SNS等が普及して初の大きな災害だったと思う。問題となったこと、良かったこと、それらを良い事悪いこと両方について議論できる点ではないだろうか。
熊本地震だけではない。
もう生きているうちには大地震は来ないと思っているのではないのでしょうか？喉元過ぎれば熱さを忘れる感が、住民側にはあるように感じます。 行政側も、防災条例や毎年の防災訓練はされていますが、帳面消しでされていませんか？啓発や地域への防災力向上も積極的とは見えません。 本当にまたあの大地震がきてもよいように備えようと本気で取り組んでいるか疑問です。
良い意味でも悪い意味でも交通インフラに課題がある。より災害時には困難を生じてしまう。

25 あなたが考える、防災における本市の「目指すべき姿」とはどのようなものだと思いますか？（あてはまるものを全て）

各家庭が必要な備蓄を行っていたり、必要な避難行動を早めに行うなど、市民一人ひとりの防災意識が高いまち	1,477
行政における防災や災害対応の窓口を一元化し、市民にわかりやすい対応を行えるまち	703
平時から地域と行政が連携し、災害への取り組みを話し合うことができるまち	812
地域の中で支え合う「つながり」を大切に、災害時にお互い助け合う行動がとれるまち	1,066
行政が次の大規模災害を想定し、可能な限り準備を整えているまち	624
災害時には何が正しい情報かわからないなど混乱が生じるため、普段から正しい情報を収集・発信できる環境が整っているまち	774
大規模災害時には被災者の多くが不自由を強いられ、また多様な市民が避難することから、被災者一人ひとりの尊厳が守られるまち	473
過去の災害の記録や記憶が次世代に伝承され、いつまでも風化しないまち	609
その他	32
わからない	45

計 6,615



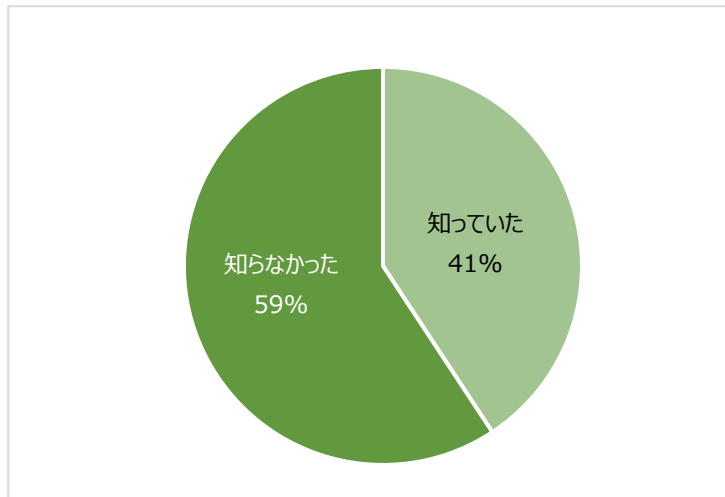
26 上記でその他と答えた方について、防災における本市の「目指すべき姿」を回答してください

市役所などに頼ることなく、人頼みせずに市民全員が自己責任を強く意識しながら、防災対策をしているまち
政令市の中でも防災に強いことを全国に発信し、そのように認知されるまち
自らの命は自らが守るといふ、意識の高い市民が住むまち
平時から連携しなくても災害時にお互いを思いやり、たすけあうことができるように日頃からこころの教育が必要と思う
市民だけが防災意識を高めるだけではなく、市職員一人一人が自らの役割を理解し市民と融合した防災力の向上を目指す
全部できるのが理想であるが、現実には難しく、多くのことを欲張って取り入れてもパンクしてしまう。そのため、何か一つだけでもいいので、個人レベルでできることをやっていけば現状より一歩進めると思う。
本市が目指すべき姿は、普段から正しい情報を伝えることで本市への信頼を増やすことが重要だと思います
防災、非常時対応のシステムを常にアップデートする都市
行政で行うことと地域で行ってもらうことを整理して行政が介入しすぎない
地域の公園等にも備蓄しておくべきではないかと思えます
他都市にも教訓を伝えていく役割もあると思えます
震災関連死を減らすこと（直接死があれほど少なかったのに、その4倍以上の関連死があったことは、「救えた命が亡くなった」ということであり、行政の責任を多く感じる）。そのために必要なのは何か。行政自身の「熊本地震の反省」が足りていないし、全庁挙げての「防災の取り組み」が無さすぎる。まずはそこから。地域や事業者にも「防災」の大切さを訴えるためにも、「市役所全体」の意識向上が必須。
行政がすべてを抱えるものではないと思うものの、各個人に役割を押し付けるのもおかしい。ましてや地域に期待するのも条例としては難しいのではないかと思います。目指すべき姿としては、「公助、共助、自助」がそれぞれの限界までバランスよく揃っていることであると思えます。
災害が起こった場合に、被害をなくし、又は最小限に抑えることができることは全てやるべきだと思います
熊本出身ではないので熊本地震では避難時に家族が孤立した感覚であった覚えがある。その中でPTAでのつながりは心の支えとなった。現在はコロナ等でイベントもなく横のつながりを新たに作る機会が少ない。このため、平時での地域とのつながりを持てるようなきっかけが欲しいと思う。
窓口を一元化してわかりやすくするには賛成ですが、その窓口を地域密着で複数箇所に設けてほしい

27 本市が「熊本市防災基本条例（仮称）」の制定を目指していることをご存じでしたか？

知っていた	846	41%
知らなかった	1,231	59%

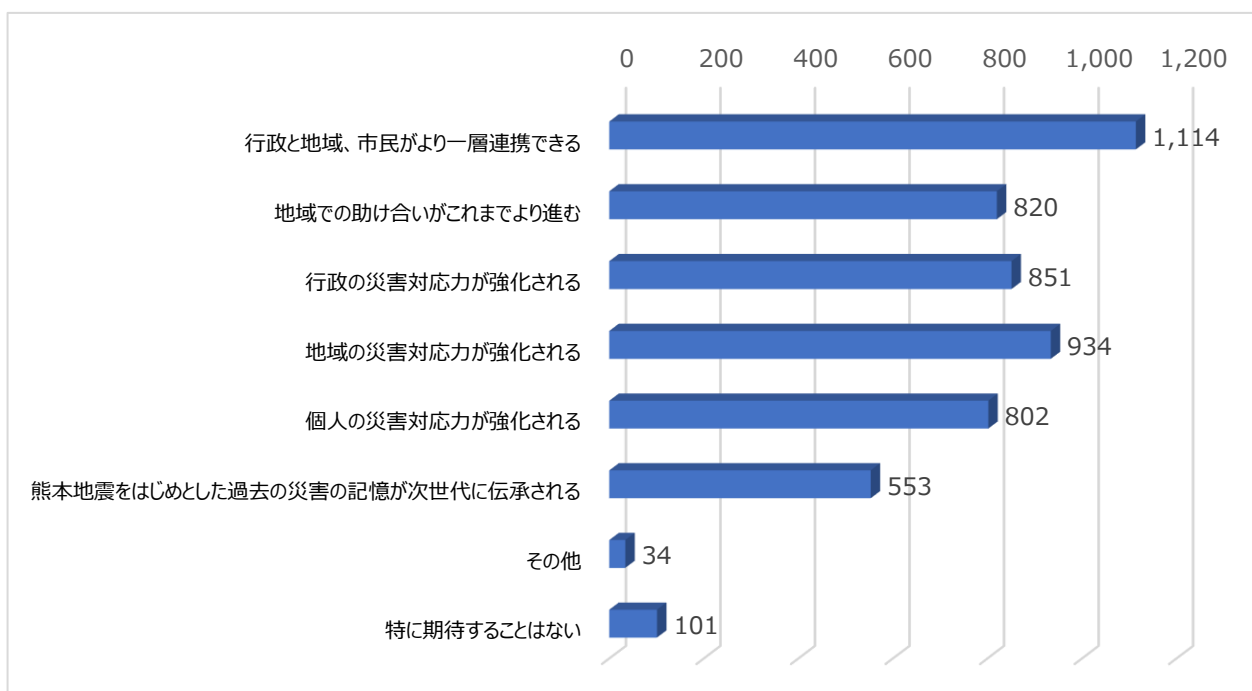
計 2,077



28 あなたが「熊本市防災基本条例（仮称）」に期待することは何ですか？

行政と地域、市民がより一層連携できる	1,114
地域での助け合いがこれまでより進む	820
行政の災害対応力が強化される	851
地域の災害対応力が強化される	934
個人の災害対応力が強化される	802
熊本地震をはじめとした過去の災害の記憶が次世代に伝承される	553
その他	34
特に期待することはない	101

計 5,209



上記でその他と答えた方について、「熊本市防災基本条例（仮称）」に期待することを回答してください

熊本市がしようとしていることが熊本市民に伝わり、共有されることです。逆に、制定に当たっては、市民が求めることが熊本市に伝わり、条例に反映されることを期待します。
災害対策基本法などの法令と何が違うのか分からない。条例を制定する意味はないと考えます。
市役所でバラバラになっているハザードや事前対策（災害）の情報を一元化して発信してほしい。
確実に実行できるものにしていただきたい。絵にかいた餅にならないようにしてもらいたい。 また、世の中の変遷を柔軟に捉え、適宜見直してもらいたい。
自分のことは自分で備え、それぞれが自立し協力しあえる社会。市民と組織や団体そして行政すべての人が協力するために大切な不変の心構えや理念を示し、端的に短く読みやすいもの。
自然の脅威を子供から大人まで、意識向上させて備えること。
市民が自らの権利だけでなく、能力や立場に応じた相応の義務を負うことも表現してほしい。
乳幼児、高齢者、障がい者、ペット連れなど弱い立場の人たちへの支援。
自分の身は自分で守るという意識を高めること。行政が守る側、市民が守られる側という構図には限界があり、参画する、協働する、自助、共助が大切だという意識づけを期待する。
正しい情報を伝える行政と市民との役割分担を明確にすること。
これまで要綱や運用等で設置していた校区防災連絡会等を条例に位置付けることで、設置義務等が明確となる。
縦割りではなく、熊本市のルールはこれと決めてほしい。
防災へ向けたハード整備等の方向性等についても記載があれば良いかと思います。
必ずしも、指定避難所に避難できるとは限らない。そのような方が取り残されないような仕組みづくりを期待する。
市民に分かりやすい条例。「条例」というと硬い感じがする。その言葉だけで敬遠しがち。もっと、漫画チックのようにわかりやすく表現してほしい。
地域と書いてありますが、高齢者が多い過疎地帯。行政にしか期待出来ません。
自力では避難できない人（障害、病気、怪我）への対応。
災害の経験を活かして他の地域災害にも迅速に手を差し伸べられる備え。
熊本市役所自身の取り組みを強く打ち出すこと。その上で、「災害時には足りない部分が必ず出てくるので、地域や事業者の連携が必要になる」という公助にできない部分を共助をお願いする、という意識が条例として書かれていること。
適当に作るのではなく、じっくり市民の意見を聴いてほしい。
市の防災会議や災害対策本部の在り方については本条例制定に伴って見直しが必要になる。
上から目線ではない行政と市民がともに支え合う防災
現時点で行政の本気度が感じにくい。市職員が異業種交流や地域住民とのふれあいを通して凝り固まった考えから脱却して、本当に必要な支援や備蓄、ネットワークを平常時から準備しておいて欲しい。ICTも含め民間の力を借りることも必要。

30 条例について、どのような名称がふさわしいと思いますか？

熊本市防災基本条例（またはそれに類するもの）	913
熊本市防災条例（またはそれに類するもの）	149
「減災」を含む名称（熊本市防災・減災基本条例など）	15
「災害対策」や「災害対応」などを含む名称（熊本市災害対策条例など）	130
「市民」や「みんな」などを含む名称（熊本市市民防災条例やみんなで守る防災条例など）	70
「地域」を含む名称（地域で目指す防災都市条例など）	24
「熊本地震」を含む名称（熊本地震を風化させない防災対策条例など）	12
分かりやすい名称にしてほしい	103
わからない・思いつかない	129
特に意見はない・何でもよい	185
その他	347

計 2,077

